

ほすぴたる

No.689

平成27年6月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

声	垣根を超えた連携に期待	公益社団法人福岡県病院協会 参与 西日本新聞報道センター・社会部 総合デスク	田川 大介	①
新人物	ご挨拶	社会医療法人財団池友会福岡和白病院 院長	富永 隆治	③
	ご挨拶	医療法人CLSすがはら菅原病院 院長	菅原 謙三	④
病院管理	医療事故調査制度に関して	福岡県医師会 副会長 国立病院機構福岡東医療センター 院長	上野 道雄	⑤
看護の窓	北九州の地で	国立病院機構小倉医療センター 看護部長	音成佐代子	⑧
	「看護部奮闘記：魅力ある職場づくり」 ホスピタリティマナーで選ばれる病院づくり	久留米大学医療センター 副看護部長	大塚 まり子	⑩
	地域包括ケア病棟における看護管理	福岡逋信病院 看護部 副看護部長	渡邊 貴子	⑫
趣味	おなじ『たての会』でも!! ～濡れ落ち葉にならないために～	医療法人相生会杉岡記念病院 医療連携室室長 (福岡官兵衛塾 塾長)	大谷 哲也	⑭
Letter	ギリシャ神話にみる 親子の葛藤	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 学校長	朔 元則	⑪ ⑬
Essay	赤穂浪士の本当のねらい	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師	安田 宏一	⑮
	トイレの床から見えること	医療法人CLSすがはら菅原病院 専務理事	菅原 知之	⑮

■福岡県私設病院協会	平成27年5月福岡県私設病院協会の動き			⑳
■福精協の広場	『変わるもの、変わらないもの』	医療法人互舎会筥松病院 事務長	井上 賢二	㉑
■福岡県病院協会だより				㉒
■編集後記			岡嶋泰一郎	㉓

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

医院開業のご相談 お待ちしております

相談は無料!!

(福岡地区・北九州地区・南九州地区・中四国地区)

事業計画書作成／開業資金／土地（賃貸ビル・建て貸し含む）／診療
圏調査／設計／施工／医療器械／リース／調剤薬局／スタッフ／その
他開業に必要な什器物品／医療専門会計士

地区担当者と各分野のメディカル専門担当者が対応致します。信頼できるパートナーです。

ドクターの皆様へ! 団体所得補償保険制度(休業補償保険) 一団体割引

- 1 ワイドにガード** 国内、海外、業務中、業務外での病気・ケガによる休業、天災、自宅療養をワイドに補償! 24時間いつでもサポート!!
- 2 長期にわたり安心** 1年間は「基本コース」で補償、長期の場合も「新ロングコース」で最長70歳まで。
(就業障害開始時の年齢が65～69歳の方は最長5年間補償)
- 3 手続き簡単** 加入時の医師の診断不要。いつでも加入できます。
- 4 自動継続** 更新時には、加入内容等、特にお申し出がなければ自動的に継続がされます。
- 5 団体割引** 加入団体によって最大51%割引。

★お問い合わせ先／M.S メディカル(株)
URL:<http://www.msmedical.co.jp>
E-mail:msmedical@chime.ocn.ne.jp

〒810-0044 福岡市中央区六本松3-1-58 リード桜坂1F
Tel 092-722-0498 Fax 092-722-0525



垣根を超えた連携に期待

公益社団法人 福岡県病院協会 参 与 田川 大介
西日本新聞報道センター・社会部 総合デスク

毎月送っていただく機関誌「ほすびたる」は、福岡県内の病院の旬の情報や医療従事者のさまざまな意見、病院協会の動きを知ることができて参考になります。例えば3月号（No.686）では、県立太宰府病院が公設民営化されてからの10年を振り返る院長、看護部長、事務部長の寄稿を感慨深く読みました。地域の精神科医療を中核的に担う公的病院としての責任と、経営改善という至上命令との間で苦労されてきた日々^{いろう}に思いをはせました。4月号（No.687）では、胃^{いろう}瘻をめぐる短絡的ともいえる議論に対し高齢者医療の現場から異を唱える主張に関心を持ちました。

昨年の9月号（No.680）に掲載された『福岡官兵衛塾』いざ開講！」は、新聞記事のネタにもなりました。NHK大河ドラマ「軍師 官兵衛」の主人公、豊臣秀吉の天下統一を支えた黒田官兵衛にちなみ、病院のトップを支える行動力ある「ナンバー2」を目指す事務職員たちが集まって勉強会を始めたことを伝える大谷哲也さん（現・杉岡記念病院医療連携室長）のエッセーは、読んだ瞬間「面白い！」と思いました。西日本新聞報道センターの下崎千加記者が第4回勉強会を取材してまとめたのが、昨年11月21日の夕刊記事「目指せ 病院経営の軍師／秀吉支えた官兵衛見習い／事務職員16人が勉強会」です。

勉強会では毎回、医療界の大先輩から塾生た

ちに喝を入れてもらうそうです。新聞記事では、その日の講師だった安藤文英さん（福岡県病院協会総務理事、西福岡病院理事長）の言葉が紹介されています。「官兵衛のように、有能なナンバー2はトップから疎まれかねない。医者は数字に弱い。2番と言わず、院長をしのぐ実権を握ったトップを目指せ。健全経営がひいては患者さんのためになる」と大胆に励ましています。講師は皆、塾の趣旨に賛同したボランティア。ユニークな活動だと感心していたところ、思いがけず塾長の^{いろう}大谷さんから電話があり、第5回勉強会で文章の書き方について話すよう依頼されました。

何を話せばいいのだろうと困惑しつつ、4月18日の午後、足を運んだ会場には13人の方々がおられました。与えられた1時間半の前半は、5W1H（いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように）を盛り込むことなど文章を書く基本を伝えました。序論から結論に至る一般の文章とは異なり、ニュース記事や広報文（プレスリリース）は結論（最も重要なこと）から書き始めることなど事例を基に紹介しました。

後半は「新聞記者の仕事」と題して、夜討ち朝駆けといった取材手法、同じ日の新聞（夕刊、朝刊）でも幾つもの版があり、世の中が時々刻々と動くなか、何段階もの締め切り時間をにらんで記者たちが力を尽くして取材し、記事を書き、紙面を編集していることを申し上げまし

た。新聞の役割とは、知る権利に奉仕することにほかなりません。もっとも、知ることは権利であると同時に社会に生きる責任でもあります。興味があること、知りたいことはインターネットを検索すれば出てきます。一方で、事件や災害、戦争、身近なところにある社会のひずみなど、目を背けたくても直視しなければならないこと、「私は知らない」と言うてはいけないことも世の中にはたくさんあります。それを知り「私は何ができるか」を考えるために新聞をめぐってくださいと訴えました。

終了後の懇親会も、ビールと焼酎、焼き鳥を手話に弾みました。私のつたない講義に続いて医療界の大先輩として話された大石 潔さん（浜の町病院事務部長）は、懇親会でも質問攻めに遭っていました。講義で大石さんは、仕事に向き合う信条として、① 人のためではなく、自分の楽しみとして取り組む、② 良い結果が

出るよう努力し、ぶれずに継続する、③ 天の時、地の利、人の和を大切に、上司やトップを動かすーと熱く語られました。「責任をとらない上司に部下はついてこない」「『もうできたことや！』と上司が驚くほどのスピードで仕事をせよ」など、業種を問わず心に留めたいキーワードもありました。

大谷さんによると、塾生はその後も増えており、15の病院から30代を中心に20人が参加しているとのこと（5月18日現在）。それぞれの医療機関が特色を明確にして協力し合う「医療連携」がますます大事になるなかで、組織の垣根を超えて学び合い、情報を交換し、先輩が後輩に叱咤^{しった}激励する取り組みは、病院経営の根幹である患者や家族へのサービス向上、ひいては地域医療体制そのものの充実につながっていくものと期待しています。



社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 院長 富永 隆治



ご挨拶

伊藤翼前院長の後を受け、4月1日付けで、社会医療法人財団池友会福岡和白病院院長に就任いたしました。

私は昭和50年に九州大学を卒業し、新設なっただけの心臓血管外科教室（徳永皓一教授）に入局しました。九州大学第一外科と九州厚生年金病院で一般外科を研修した後、九州大学病院、国療福岡東病院（現国立病院機構福岡東医療センター）、松山赤十字病院、国立福岡中央病院、北九州市立医療センター、国立病院機構九州医療センターと主に国公立の病院に勤務し心臓大血管の手術に専念しました。この間、2年間米国クリーブランドクリニックに留学し、無拍動流人工心臓の有用性に関する研究に従事しました。研究当時、非生理的な脈のない人工心臓は有り得ないと迄いわれましたが、現在では殆どの植え込み型人工心臓は無拍動流になっています。平成17年から、安井久喬教授の後をうけ、九州大学心臓血管外科3代目教授として10年間教室を主宰いたしました。大学では主に弁膜症、胸部・胸腹部大動脈瘤、冠動脈疾患といった後天性の心臓大血管疾患の診療・研究に従事しました。心臓移植・植え込み型人工心臓、経カテーテル的大動脈弁置換術といった先進的な医療にも取り組み、其々軌道に乗せることができました。また現九州大学総長の久保先生が九大病院長の時、医療安全担当の副院長として6年間勤めさせていただきました。

今回、縁があって福岡和白病院にお世話になることになりました。病院の特色は一言で云うと明るいことです。陽光を最大限取り入れる病院設計が優れているのですが、それだけでなく

働くスタッフが毎日生き生きとしていることが大きいように思います。チーム医療の考え方が浸透し、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床工学士、検査技師が能動的・積極的に働き、結果的に医師にとって雑務は少なく働きやすい環境になっています。事務部門も強力で病院への貢献度も大きいと実感しています。働きやすい環境からか、初期臨床研修医も16名（1年目7名、2年目9名）と多く集まっています。病院としてこれらの若い医師を立派な臨床医に育てる責務があると考えています。九州にある関連の5急性期病院が連携し、「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」という本病院理念を徹底的に教え込む所存です。また、新専門医制度が今年の卒業生から適応されることから、本院でも各診療科別にプログラムを作るため委員会を立ち上げました。九州大学病院を始め県内の大学病院のご支援をいただきながら整備したいと存じます。ただ、基本19領域の足並みがそろわず、情報も不足していることから、きちんとしたものを作るにはもう少し時間がかかるのではと思っています。

本院は急性期病院としてこれまで活動してまいりましたが、厚労省の方針では2025年までに7対1看護体制を有する急性期病院を現在の33万床から18万床に減らし高度急性期病院とするとしています。当然施設基準の厳格化がなされると思いますが、本院に於いてもより良い急性期医療を目指し、院内整備を行い、これまで以上の熱意で救急医療に取り組んでいきたいと思っています。よろしくご支援のほどお願いいたします。

医療法人CLSすがはら 菅原病院 院長 菅原 謙三



ご挨拶

今年度より、福岡県病院協会に加入致しました、菅原病院 院長・菅原謙三と申します。まず施設の概要を申し上げます。当院は福岡県大牟田市の南端、熊本県荒尾市との県境近くにあります。昭和43年より半世紀に亘り診療を続けております。60床の医療療養病床を中心に入院外来診療や、訪問等の在宅サービスを行っており、「町医者宣言」の理念にもとづき地域医療を進めております。

所で、大牟田市と言えば九州・山口の近代化産業遺産群として先日ユネスコに登録（イコモスの勧告）されるかもしれないと報道されましたが、旧産炭地として長い間炭鉱の街として栄えてきました。しかし、記憶の中では三川抗爆発という炭鉱災害や、「七色川」として工場廃液を流した大牟田川が、栄光の陰として残っています。過去の遺産（正も負も）を将来に向けてどう活用していくのか、まちづくりに於いて重要なテーマであると感じます。かような土地柄、当院はじん肺患者を多く、そして永く診て参りました。ただ、エネルギー革命（転換）以降、炭鉱閉山に続く産業基盤の衰退、若年人口の減少、そして今の日本にとっての大きな課題である高齢社会問題など課題を抱えております。結果、じん肺患者も減少の一途をたどっています。

さて、昨今の地域包括ケアシステムという言葉は我々医療界にとどまらず、様々な所で使われております。重要な要素として、医療・介護・予防・生活支援・住まいといったキーワードが並びますが、この考え方が出てきた背景には次のような日本の現状があるのではないのでしょうか。

中央と地方、都会と田舎、若者と高齢者、疎

と過等、格差と呼ぶべき課題であり、当然ながら解決策は一つではなく、その場所、その地域、つまりその土地で生きる人考えてほしいということでしょう。

この大きな、困難な課題に対するヒントは、『それでも』その土地に人々が暮らしているということです。それは当たり前ですが、世代を繋ぐということ、子ども－大人－老人とその地域で生きるということに他なりません。そして、それは自分たちの手で作っていかなくてはならないということです。誰もが手間をかけていかなくてはなりません。

この度に当院は病院を新築・移転することになりました。平成27年の8月を予定しております。又、それに先立ち地域密着型特定施設と地域交流施設が5月に開所しており、他にも在宅・通所サービスや子どもへのサポート事業等を順次オープンしていく予定です。私共はこの場所で地域包括ケアシステムの各要素に取り組むだけでなく、前に述べた地域を繋いでいくための各世代への関わりも進めて参ります。

地域の方々にご協力を頂き、それこそ子どもさん、その親御さんやおじいさん、おばあさん達に参画して頂きたいと願っております。これまでの医療機能の拡大という考え方に終始せず、地域の多様性に目を向けた、自分の足下を踏み固めるような事業展開をしなければならないと考えております。

新しく事業を行うにあたり、地域の安心安全はもちろんですが、地域の方々があつての当施設の安心安全でもあることを強く感じます。そのためにも、「町医者」として根付くことを第一とします。

医療事故調査制度に関して

福岡県医師会 副会長
国立病院機構 福岡東医療センター 院長
上野 道雄

1. はじめに

診療行為に関連した死亡への対応は紆余曲折の議論を経て、本年（平成 27 年 10 月）、医療事故調査制度が実施される。平成 27 年 2 月 20 日、日本医師会医療安全対策委員会に出席したところ、案内表示に記者会見の案内があった。医療事故調査制度の記者会見が始まるということで、担当課長から、会見場に案内された。日本医学会の高久会長と日本医師会の横倉会長が日医の役員を従え、日本医師会で医療事故調査制度に関する会見が始まった。先日、厚生労働省の「医療事故調査制度の施行にかかる検討会で、医療事故報告書の交付に関する協議が不調に終わった」と聞いていたが、一転、事故調査制度は合意に至ったとの話であった。何よりも、日本医師会に日本医学会の高久会長が赴いて記者会見に臨まれる姿勢は新鮮で、時代の動きを感じた。当日の日医医療安全対策委員会は、厚生労働省の担当者が列席して、会議が始まった。

福岡県医師会は「診療行為に関連した死亡の調査分析事業：以下福岡県医師会方式」を平成 24 年 7 月に始めた。福岡県医師会方式は、診療行為に関連した死亡事例に遭遇した全ての医療機関に、院外専門委員を派遣して病態究明の院内事故調査委員会の開催を支援する。先行事例として、国立病院機構の九州グループが平成 16 年に始めた拡大医療安全委員会（複数の院外の専門委員が院内事故調査委員会に参画し、

院外委員が委員長を勤める）を参照して、福岡県医師会方式を立ち上げた。先行事例と異なり、福岡県医師会は当該病院に担当理事と医師会事務職を派遣し、当該病院との協議（初期対応）を行った。更に、全例、院内事故調査委員会の審議結果を元に、報告書を作成して当該病院に交付した。以上の手順で、10 数件の事例を経験した。少数例であったが、実際事例の検証は得るところが大きかった。

2. 初期対応

診療中に想定外の事態に至り、当該病院が福岡県医師会に相談すると、事務局を介し当方に連絡が入る。10 数例中 1 例を除き、当該病院長と電話で協議した。診療行為に関連した死亡か否かの協議を行い、今後の対応等を助言した。病院にとっても、県医師会としても重要な協議で、このファーストタッチでの信頼の有無が、病院での円滑な初期対応に繋がる印象である。

次いで、県医師会の担当理事と事務職、必要に応じて看護師を伴って病院に伺った。病院側の出席者は当該病院長と事務部長、当該診療科責任医師、リスクマネージャーに加え、病院側の判断で、複数の幹部、当該医師、当該看護師、当該師長が参加した。冒頭必ず、「我々は病態の究明のために伺った。犯人捜しが目的ではない。多くの病院の審議で、多くの医師、看護師は倫理観や責任感のため、自らの過誤と思込んでいた。ところが、院内事故調査委員会は大

半の事例で診療の妥当性と情状酌量の余地を証し、何よりも、皆さんの誠意溢れる医療を明確に表現して、全例、刑事事例としては「事件性なし」と処理された。それには、皆さんに小さな疑問や不安を余すことなく述べて頂き、ざっくばらんな協議を行うことが大事である。報告書を作成して、ご遺族に説明する際、小さな事実誤認等が明らかになると、遺族の不信感を募らせ、紛糾化を招きかねません。宜しく願います。」と話して、協議を始めた。審議が始まると、関係者の言葉の端々に緊張が走る。そこで、話し合いの中に、暖かい雰囲気醸し出すことに努めた。多くの病院は、事前に病院で事故調査委員会を開催され、事例の概略を作成されていた。そこで、病院が作成した事例の概略、診療録等の資料と協議を元に病態の理解に努めた。ここで、注意すべきことは、病院はどうしても患者家族の苦情や疑問への対応が中心になりがちで、病態の究明に必要な症状や所見、背景を見逃しがちである。まずは因果関係に絞って、検討することが大切である。次いで、病態の究明に関わる問題点、診療の妥当性に関する問題点、遺族の疑問や苦情に関する問題点を抽出した。問題点の抽出が不十分な際、院内事故調査委員会で重要なポイントが見逃され、病態を十分に明かすことができない、あるいは、審議時間が長くなる等の事態を招きかねない。また、院内事故調査委員会の審議を円滑に進めるため、病歴や所見、検査結果の追加や整理を詰め、主たる関連領域を決める。そして、院外専門委員の選出と依頼を行う。振り返ってみると、初期対応で院内事故調査委員会の大筋が決まるように思える。

3. 院内事故調査委員会

院内事故調査委員会には、院外委員として委

員会の委員長を担う基幹病院の院長ないしは副院長、主領域の専門委員2～4名、副領域の専門委員1～2名、かかりつけ医と看護師に加え、病院側委員の院長、副院長、看護部長、リスクマネージャー、当該診療科の管理職や師長で構成される。病院側委員は当事者の参画も含めて基本的に病院の判断に任せている。診療所事例は2次病院に搬送後の死亡事例で、2次病院にも委員会への参画を依頼した。院外委員の人員に関しては、複数の分野に亘る事例や、複雑な事例では院外委員数が多くなる。院外委員の数が多くなると、日程調整が難しく、事例の発症日から委員会の開催までの期間が長くなる。日時を経ると関係者の記憶も曖昧になりがちで、また、遺族の心情を考慮して、3か月以内の開催を目指した。現在のところ、院内事故調査委員会の開催まで平均54日で、全事例3か月以内で、目標を達成している。

実際の委員会は、初期対応と同様に冒頭、福岡県医師会の主旨を述べて、忌憚のない審議を心がけた。病院が事例の概略を述べ、院外委員の質疑、次いで、問題点に沿った質疑を行った。病態の究明に関しては医療施設の機能や大小に関わらず、死亡の因果関係を厳粛に粛々と明かすことに努めた。因果関係を元に、診療の妥当性を検証し、その際、病院側の疑問、特に当事者の不安の聴取に努め、情状酌量に関しても言及した。委員会において、発言を躊躇される看護師の言葉を引き出し、その言葉が病態の究明、更には診療の妥当性を導くと、院外委員の顔がほころぶ瞬間であった。

4. 報告書の作成と交付

院外専門委員が報告書案を作成し、全専門委員が報告書案を元に、新たな疑問や事実の確認等の修正協議を繰り返して完成させる。修正協

議への病院の参画には、種々の意見があり、当初、ほぼ完成した報告書を当該病院に送付して内容の確認を依頼した。2～3時間の院内事故調査委員会の審議を元に報告書を作成すると、新たな疑問の浮上や、事実関係の確認や新たな検査結果、所見の追加が必要になった。当該病院に報告書案を添えて必要な情報の追加を求めると、当該病院からも更なる疑問が寄せられた。結果として、報告書作成の修正協議を経て、院内事故調査委員会の審議が深まった。更には、修正協議を繰り返す過程で、審議過程とその結論に対する当該病院の理解が深まることを実感した。院外委員と病院間協議を重ね、報告書を6～10版修正して、報告書を完成させて当該病院に交付した。

報告書の遺族への交付、警察署への提出は当該病院の判断に任せた。院外委員と病院が院内事故調査委員会と報告書の作成過程で、公正かつ十分に検証した文書が当事者を守ることはあっても、当事者を不当な罪に貶めることは考えられない。更に、当該病院は専門医名を列記した報告書の価値を実感し、当方の予測を越えて、報告書の遺族への交付を希望した。他方、病態の科学的な分析と遺族の心情は必ずしも一致せず、例えば、認知症や錯乱状態に関する記載等をどのようにするべきか等、遺族への交付の是非は難しい。報告書を遺族に交付した際の専門医の立場や心情等、新たな課題が浮上した。この点に関して、公的機関からの見解の表明や、関係者での十分な協議を経て、遺族と病院との共通の認識を熟成せる必要がある。

5. 結果と課題

福岡県医師会方式を12例（診療所事例：2例、中小病院：5例、基幹病院：5例）実施した。中小病院と診療所事例が半数を越え、当初の目的を達成した。また、警察届け出事例を2例受け付けたが、幸い、警察から「事件性なし」との回答を得た。現在のところ、民事訴訟への移行事例が1例、示談解決が1例で、福岡県で実施した厚生労働省の補助事業である「診療行為に関連した死亡の調査分析事業」での割合と、偶々であるが、一致した。

結果的に、福岡県医師会方式は成功したように思われるが、手順や支援体制、報告書の交付等試行錯誤の繰り返しで心もとない。今後は、厚生労働省の指針や、日本医師会、医療安全調査機構等の手順に沿った体制作りが課題である。特に、初期対応を担う人材、次いで、院内事故調査委員会の委員長、報告書案を作成する人材の育成が急務である。

6. 日医医療安全対策委員会

日本医師会の医療安全対策委員会に副委員長として参加させて頂いている。委員会は10数名の委員が手さぐり状態で始まり、1-2か月置きに開催されている。忌憚のない審議が医療事故調査制度の根幹である支援団体の内容や手順の骨格を徐々に具体化させてきている。日本の医療事故対処が大きく改善され、国民の医療への信頼が深まることを信じて、議論に参加させて頂いている。

看護 の窓

北九州の地で

国立病院機構 小倉医療センター 音成 佐代子
看護部長

はじめに

国立病院機構（NHO）小倉医療センターに着任しました、看護部長の音成 佐代子です。地元は、福岡ですが、北九州は初めてです。

ここでは、NHO 小倉医療センターの印象や特徴及び、北九州地区看護部長協議会について少し紹介させていただけたらと思います。

NHO 小倉医療センターは、北九州市のほぼ中央にあり、明治8年創設の歴史ある由緒正しい、伝統的な病院です。院長先生のお話でも、森鷗外がたびたび訪れられていたとのことで、鷗ホールができたと言いました。この小倉医療センターを多くの市民が愛してくれて、大事にされてきたという歴史を知りました。

ところで、玄関横のお花達やその他の花壇をホスピタリティ向上委員会が管理し、その他のボランティア（医師含）の方々がいつもきれいにしてくれています。かれこれ8年以上活動しています。私や患者さんの気持ちを明るくさせてくれています。



また、当院のホームページには、「総合掲示板」と「みんなの声」という伝達コーナーがあるのですが、「総合掲示板」は公的な伝達で、「みんなの声」は、ペンネームで投稿できるコーナー

です。私も、仕事の合間にちょっと見るのです。が、とてもすばらしいのです。紹介します。

★ 現在もなお隠れて活動中の……

投稿者：隠れホスピタリティトリオ

電子カルテになって、目も頭も、そして心も疲れているそこのあなた様へ、ひと時の癒しをお届けします。



★ また、行ってきました！

投稿者：仮面ライダー4号

サンドイッチ型城下町？ 武家屋敷（見学無料の所もある）が現存する江戸時代からの商人の町杵築市！ へ行って来ました！ 時代劇やドラマのロケスポットとの事！ 事前申込で観光案内可！！ 女性必見、地球初、着物が似合う町並みなんだとか！？ 名物どーんと井もまずまず、オレンジロードも爽快でした。



NHO 小倉医療センターの平成 27 年 4 月以降の取り組みとして、4 月 27 日 電子カルテの導入を行いました。大きな混乱もなく、患者さんには、なれるまで少々ご迷惑をおかけいたしておりますが、情報の共有がスムーズになされています。また、小児科では、5 月より食物経口負荷試験（oral food challenge test, OFC）を実施しています。OFC は、食物アレルギーの最も確実な診断法であり、確定診断（原因アレルギーの同定）、および耐性獲得の確認を目的として実施されました。今後増加していくことが予想されています。

当院では、小児科の食事はいろいろ工夫をされています。写真の食事も幼児食育メニューで提供されました。そして、救急外来に立派なエコーの機械が購入されました。救急搬送されてきた患者さんの検査に大活躍です。機械はすごく高いのですが、患者さんの診断がスピーディにされることはとても大切です。

これからの NHO 小倉医療センターは、これらを含めて、職員一丸となり地域に必要な病院として頑張っていきたいと思っています。

電子カルテ▶



◀食育メニュー



◀エコー機器

もうひとつのご紹介は、北九州地区看護部長協議会についてです。

今年開催された会議は第 65 回でした。北九州地区の 52 施設の看護部長さん方の会議です。私は始めて参加したのですが、1950 年から 65 年間、紡いできた看護部長のネットワークはとてもすばらしものでした。

そして、その年数と同じ「第 65 回 フローレンス・ナイチンゲール生誕記念祭」が北九州地区看護部長協議会主催で開催されていることに感動いたしました。北九州地区看護部長協議会会長の玉井照美氏（小倉記念病院 副院長・看護部長）がご挨拶の中で紹介されていましたが、最初は、少数での看護部長会の発足でしたが、「フローレンス・ナイチンゲール生誕記念祭」を開催することで、年数と共に、とても大きな協議会となり、生誕記念祭になったとのことでした。

今後ますますの発展を祈念すると共に、その中の一員であることをとてもうれしく思っております。



看護 の窓

「看護部奮闘記：魅力ある職場づくり」 ホスピタリティマナーで選ばれる 病院づくり

久留米大学医療センター 大塚 まり子
副看護部長

久留米大学医療センターは高良山の麓、久留米市国分町にあり、緑豊かな歴史のある土地に建っています。

看護部は久留米大学病院看護部と同じ理念のもと「個々のライフステージに合わせ、イキイキと働き続けられる職場づくり」を目指しています。また今年度から久留米大学病院との機能分化が進められ、27年度の看護部スローガンは「維新・前進」としました。看護師数169名、平均年齢37.2歳と経験豊富な看護師と一人ひとり顔の見える関係性ができている職場です。

大学病院という役割を持ち色々な人財に恵まれ、認定看護師が運営するリソースナース会は「看護塾」と命名し研修会を中心に地域の看護師との交流を深める活動を行っています。またベテラン看護師の暗黙知を形式知とし、その技を現場にフィードバックする独自の取り組み「S（スゴ）W（技）N（ナース）研修」を行い現在37名が活躍しています。

次に自施設の患者サービスの一貫として、私と事務部長、外来看護師長、ボランティア2名が「ホスピタルコンシェルジュ」を担い、毎日外来玄関で患者さんを明るい挨拶でお迎えしています。そして患者さんの受診相談、車椅子が必要な方への介助、入院患者さんのご案内等を行っています。

そこで今回は、看護部が特に力を入れ、主任看護師を中心に取り組んでいる「ホスピタリティマナー」についてご紹介します。

【ホスピタリティマナー推進の取り組み】

「ホスピタリティー」という言葉は、病院を現

す「ホスピタル」と語源は同じだということです。患者さんが気持ちよく入院生活を送り、健康を取り戻すためには、看護師の心のこもったマナーはなりよりの良薬になると思っています。

看護部の成果目標である「倫理観に基づいた質の良い看護の提供」接遇の向上の取り組みとして、看護スタッフ全員がホスピタリティマナーの自己評価を年3回（5月・9月・1月）行います。それを部署別に数値化して何ができていないか明確にし、できていないマナーに対して啓発を行っています。5月・1月の自己評価が低かった項目は「言葉使い」に関して、9月は「電話の対応」に関することでした。

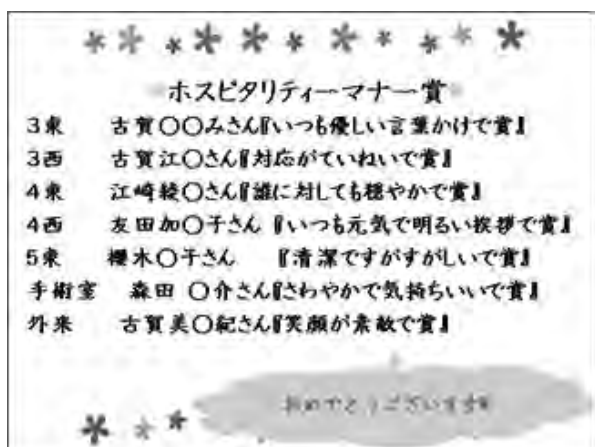


上記のポスターは、前年度ホスピタリティマナー啓発ポスターの中の1枚です。主任看護師の力作です。このポスターでは入院中の療養環境に関する取り組みをしました。特に夜は台車の音、足音など入院中には色々な音が患者さんの安眠を妨げます。ポスターによる啓発がスタッフ一人ひとりのマナーアップに繋がりました。

自己評価が低かった「電話の対応」に関しては、忙しくなるとついつい相手の顔が見えない

ため苦情になる時があります。クッション言葉の推奨や職員間でお互いに評価しながら取り組みを行いました。

また、昨年度は初の試みとして年度末に行う看護部活動報告会で各部署の最もホスピタリティマナーが優れたスタッフを選び表彰をしました。



【これからの取り組み】

ホスピタリティマナーは患者さんにはもちろんのこと、チームで働く医療従事者間においても重要です。しかし、まだまだ看護部内の活動に終わっている現状があります。これを自施設全体に広めることが今後の課題です。

年3回行っている患者満足度調査では良い評価を受けてはおりますが、時折、忙しい外来受付や看護スタッフの何気ない一言にお叱りのお言葉を受けることもあります。その言葉を真摯に受け止め、ホスピタリティマナーの継続をしていくことが「選ばれる病院」のための必須条件だと考えます。

今後も「選ばれる病院」として看護実践能力のスキルアップとより高い信頼感を得られる対応、細部に及ぶ心遣いなどの「心のこもった・おもてなし」で患者さんが安心して来院できる心地よい病院を目指したいと思います。

ホスピタリティマナー チェック表

＜チェックの仕方＞ 出来ている項目に○、出来ていない項目には×をつける。氏名()

チェック項目	5月	9月	1月
【身だしなみ】			
1. 清潔な印象を心掛けている（髪型・化粧・服装・爪・シューズ・ひげ・顔の汚れ）			
【挨拶】			
2. 相手と目が合った時は「こんにちは」と自然な明るいつもりで会釈している			
【態度】			
3. 歩く時は、足音を立てないように気をつけている			
4. 真音が悪く聞けてしまう人に「どうされましたか」と声をかけている			
5. 検査室の場所を丁寧に説明している			
6. 何かを探している様子の時に「何かお探しですか」「お探ししましょうか」と声をかけている			
7. 廊下でウロウロと場所を探している人に「どちらにご用ですか」「ご案内しましょうか」と声をかけている			
8. いつも笑顔で応対している			
9. 相手の状況を配慮して声かけや誘導のタイミングに配慮している			
10. 小さな子供には、立ったまま話すのではなく、少しかがんで同じ高さの目線で話している			
11. 高齢者には、聞き取りにくくても、視覚に訴えかけるなどの工夫が出来る			
12. 患者の話を、立ち止まって聞く、耳を近づけるなどの工夫が出来る			
13. 患者に対して聞く耳を持ち、患者が聞きたいことを理解し、適切にわかりやすく説明している			
【言葉使い】			
14. 急に話さない時にも、頭から断らずに、代わりの案を示したり、クッションになる言葉を添えて話している。 （恐れ入りますが・・・、申し訳ありませんが・・・、目であればできるのですが・・・）			
15. 依頼する場合「～していただけますか」「お手数ですが恐れ入りますが・・・」「申し訳ありませんが・・・」と言葉を添えている			
16. 相手に確認する場合「～でよろしいでしょうか」と最後に言葉を添えている			
17. 患者から聞かれる際には「何かございましたら、～に、お声をかけてください」と伝えている			
18. 患者さんに待つ場合「少々お待ちください」と言葉を添えている			
【電話の対応】			
19. 電話にはできるだけ早く出るようにしている			
20. 電話に出るのが遅くなったら「お待たせいたしました」と必ず断りを入れている			
21. 電話に出る時は、部署名と名前を名乗っている			
22. 相手に分かるようにはっきりと話をしている			
今後、気をつけたいこと			

*患者を満足させる病院のサービス：同野真実を参考に！ 部医編

凡富米大学看護センター 主任 平成 23 年 9 月

看護 の窓

地域包括ケア病棟における看護管理

福岡通信病院 看護部 副看護部長 渡邊 貴子

「2年ごとに行われる診療報酬の改定は、国が目指す医療のあり方を間接的に指し示し、病院経営にも直結するため、看護管理者にはその理解と対応が求められる。」¹⁾とされている。

当院は、平成26年6月まで一般急性期病棟とともに、亜急性期病床（3床）、医療療養病棟を有するケアミックス型の病院であった。平成26年7月、亜急性期病床と急性期病床の一部が地域包括ケア病床（60床）へと移行した。病床を有効活用するため、看護必要度や患者の治療の状況、療養に対する患者や家族の希望などを念頭に置きながら、各病棟の師長が中心となり主治医との情報交換や、家族・コメディカルとの連携をはかり調整を行っている。また、治療や退院の目途が立たない患者については、病床運営会議を開催して多職種で話し合い、院内外における療養の場を検討・選択している。

当院の地域包括ケア病棟は、院内で急性期治療を終えた患者だけでなく、超急性期病院での治療を終えて自宅療養への準備やリハビリを行う患者、長期に療養を必要とする患者など、多種多様な疾患・ケアを必要とする患者を受け入れている。そんな地域包括ケア病棟を管理してきたこの一年の中で、私自身が感じたことを述べたいと思う。

私がまだ新人看護師だった20数年前に、「退院指導は、入院した時から始まっている。」と先輩看護師から教わった。病院完結型の医療を提供していた時代にこう言われたのは、障害を抱えながら生活をしていかなければならない患者を多数抱えていた脳外科病棟に配属されたた

めである。しかし、現在は地域完結型の医療へと移行し、在院日数が年々短縮していく中で、その言葉の重要性を違った意味でひしひしと感じている。

現在の急性期一般病棟での看護を考えると、「個別的な看護」だとか「患者参加型の看護」の重要性が言われつつも、とにかく急性期の治療が円滑に行われることに赴きが置かれ、断片的な情報収集や画一的な対応になりがちであると感じている。これは、限られた短い時間の中での患者・家族との関わりを考えると、仕方がないことだと思える。また、退院後の患者の療養生活を十分に考えたケアを提供する余裕はなかなかないのが実情であり、継続看護についても、地域看護に引き継がれることを意識しての関わりはあまり行われていない。

しかし、継続看護マネジメントとは、「患者と家族の『生きる』を実現するために、生活と医療を統合する理論的思考展開そのものであり、自立支援を目指す看護師の活動である。同時に地域全体で必要な医療や看護を提供できる継続的な体制（環境）を作り出すことである。」²⁾と再定義され、「地域包括ケアシステムを構築するための大きな課題の1つとして、外来通院中を含め入院前から、さらには退院後の生活を考慮した入院中のケアや在宅への移行をスムーズに支援できる、高度な実践能力を持った看護師の育成やケアマネジメント機能の強化があげられる。」³⁾とされている。今後は、これまでの継続看護の概念を改める必要がある。地域から当院に入院し、地域に戻った患者がどのような生活を送り、患者やそれを支える家族

は何を必要としているのかなど、様々なニーズをとらえ創造豊かなケアを提供できるよう、看護師の教育を行う必要があると考える。そうすることで新たな気づきが生まれ、継続看護に向けて意図した行動をとることができるようになると思う。

また、地域包括ケア病棟での看護ケアにおいて問題と感じているのは、入院生活におけるリスクマネジメントと地域に戻るためのリハビリを行うことのギャップである。

地域へ戻ることを目標に日々リハビリに励んでいる患者に対して、看護師は転ばせてはいけないという理由から過度の安静を強いてしまうことがある。自宅では、自分で薬を飲んでいるのに、入院中は間違えて服用しては困るので看護師が管理しているといった事例もある。つい先日、私の母が足を骨折してリハビリのために入院したが、退院間近になってもトイレに行くのにナースコールを押すよう看護師から指導を受け、「ここにいると檻の中に入れられているみたいだから、早く帰りたい。」と言った。病棟を管理している立場から考えると、患者が無事に退院することがなによりも優先される。し

かし、地域に帰れば即座に自立することを迫られることはよくあることである。

定期的な評価と、多職種によるカンファレンス、患者や家族が病院での療養生活をどのように送りたいかを確認し、十分なインフォームドコンセントを行ったうえで患者の能力を維持できるような介入を実施することが必要である。

今は病棟を離れ、違った立場で地域包括ケア病棟をサポートしている。地域包括ケア病棟をうまく活用していくことは、患者や家族のその後の地域生活を支援するだけでなく、病院経営にもつながっていく。医療・介護制度の変化だけでなく、ますます多様化する患者のニーズにも対応できるよう、自分自身も研鑽を積んでいきたい。

〈文献〉

- 1) 下村千里：看護・介護職協働の成果，看護展望，Vol.39，(7)，2014,19-24,
- 2) 長江弘子：育てたい「継続看護マネジメント」という看護師のまなざし，看護展望，Vol.39，(5)，2014,14-19
- 3) 前掲論文2)



一番大切な思いやり…
「安心・安全・清潔」

TAIYO 太陽セランドグループ
太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**

 医療関連サービスマーク認定

太陽セランドグループ会社

太陽セランドホールディングス株式会社	太陽セランド株式会社	太陽インダストリー株式会社	太陽シルバースervice株式会社
太陽ホテルリネン株式会社	ジャパンエアマット株式会社	株式会社北九州シーアイシー研究所	株式会社メディカルナビゲーション
株式会社セランド	株式会社サンウエックス	株式会社おたふく屋	

お問い合わせ TEL 0947-44-1847 Mail info@taiyoseland.co.jp Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

おなじ『たての会』でも !!

～濡れ落ち葉にならないために～

医療法人相生会杉岡記念病院 医療連携室室長 大谷 哲也
(福岡官兵衛塾 塾長)

「潮騒」「金閣寺」など数多くの作品を世に送り出した、日本を代表する作家のひとりでもある三島由紀夫。彼が昭和 43 年に左翼革命勢力による日本への間接侵略に対抗することを標榜し学生を中心として結成された。その会が「楯^{たて}の会」である。

それから 30 数年後、私はここ福岡の地で平成 14 年 12 月 14 日、もう一つの「たての会」の発足を企てた。こちらは「起ての会」と書く。平成 27 年 3 月現在で、構成メンバーには 21 歳～76 歳までの男性 31 名・女性 36 名の合計 67 名が登録している。すべて私が声をかけ集めた精鋭の者たちである。

果たして、その目的やいかに… !?

もちろんこの私が呼びかけるのだから、政治的な主義主張の集まりではない。ひと言でいえば異業種、いろんな年代の人が集まる「飲みニケーション」の集まりなのだ。

職種も銀行マン、ホテルマン、大学生、弁護士、会社経営者、医師、元証券マン、家庭の主婦、OL、定年退職後など多種に富んでいる。なかには、親子（父・娘）、姉妹での参加もある。

この会の掟は、ただ一つ。1 分間の自己紹介を兼ねた「自慢話」をしてもらうことだ。内容は何でも OK。身の回りの小さなプチ自慢から、壮大なホラ話でも大歓迎だ。

この自慢話から、参加者間のコミュニケーションが始まっていく。そればかりでなく、このような利害関係のない間柄で、自分の自慢＝好きなこと・得意なことを聞いてもらうことは、ある種の快感でもあり、それが自分を奮い立たせる機会、すなわち自己を「起たせる」場となっているのではないかと痛感する。

また自慢話から始まり、いつしか頭の引き出しに閉まっておいた困り事の相談会になることも珍しいことではない。ひとりで考え込んで悩まずに、解決の糸口を探し出すアドバイスなどの相談が出来る集まりでもある。壁に当たっても乗り越える。何度転んでも立ち上がる、これも「起ての会」の目的だ。

この会は年に 2～3 回、私の気分次第？で不定期開催している。しかし少しでも開催が滞ると会員からの要請の催促が止まない。いざ開催となると、札幌や仙台から馳せ参じる好き者も健在である。

いま世の中特に男性では、定年退職などの形で所定の仕事には就いていない人や、あるいは地域社会との接点を持たない、何らかのコミュニティに属していない人が増えているという。こうした会が少しでも、話し相手のいない生活環境の打破につながればと願っている。

将来、「濡れ落ち葉」にならないために、今のうちからアルコールで栄養を与えている。

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 陣 内 重 三

専務理事 吉松 秀則

理 事 佐田 正之

理 事 原 寛

監 事 牟田 和男

理 事 武田 正勝

監 事 津留 英智

理 事 江頭 啓介

事務局長 小野 裕三

〒 811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

おもいやりの心でサポートします

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切
他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

福岡県精神科病院協同組合

理事長 富松 愈

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F
TEL092-521-0690 / FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする
福岡県精神科病院協同組合100%出資会社

有限会社 DMS (ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F
TEL092-525-7666・7667 / FAX092-525-7668



ギリシャ神話にみる親子の葛藤

国立病院機構 九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園 原看護専門学校 学 校 長

三大神話

平成 27 年度の Letter は、4 月号が古事記、5 月号が旧約聖書に関する話題から始まったので、時の勢いということもあって 6 月号ではギリシャ神話を取り上げてみることにした。「日本人にとっての三大神話は？」と問えば、殆どの方が記紀神話（古事記、日本書紀）、ギリシャ神話、旧約聖書と回答されると思うが、私はその中でもギリシャ神話が一番好きである。

記紀神話は日本人の教養として知っておくべき物語と思って読んではいるが、詳しく知れば知る程、編纂時の政権中枢の権力者達の情報操作が臭ってきて楽しみが薄らいでくる。旧約聖書も欧米人とお付き合いする時には必須の教養であるし、泰西名画を鑑賞する際にその知識がなければ楽しさは半減する（勿論これはギリシャ神話についても言えることであるが…）。しかし「唯一絶対」という概念が希薄な平均的日本人にとっては、唯一神ヤハウェの存在はなんとも重苦しい感がある。また信仰を持たない身にとっては宗教書や律法という旧約聖書の本来の立ち位置も重苦しく感じられるものである。

この点、ギリシャ神話は読んでいて大変楽しい。医学史という観点からも医療従事者は絶対に知っておかねばならない物語である。西洋医学の祖ヒポクラテスがギリシャ人であることは皆様よく御存知のことであるし、医学用語の中にはギリシャ神話に由来する言葉がたくさん出てくる。その詳細を紹介するには紙面の余裕がないので、皆様には私の九大医学部の同級生木村専太郎君の著書「ギリシャ・ローマ神話に隠された医学用語（2009 年梓書院刊）」を是非読んでいただきたいと思っている。

旧約聖書とギリシャ神話の違いは

ギリシャ神話も旧約聖書もほぼ同時代に成立し

たものであるが、都市国家が乱立していたギリシャでは国の数と同じくらいの神様も必要であったのではないだろうか…。この多神教の世界の神々は、人間と対等に会話するどころか、恋愛し交わって半神半人の英雄や美女達をたくさん生み出したのである。ギリシャ神話の最高神ゼウスは、見方を変えれば精力絶倫の好色中年男そのものであるし、その他の神々も放埒な？恋愛三昧の生活を送っていたと言っても言い過ぎではないと思う。

これに対して、唯一絶対の神、旧約聖書のヤハウェは人間との対話など絶対にしない。存在するのは命令だけである。ギリシャ神話の世界は「汝、姦淫するなかれ」というモーセの十戒が重きをなす旧約聖書の世界とはある意味対極の世界と言える。ギリシャ神話の神々は、擬人化されることによってその権威は著しく貶められる結果になったと思うが、そのお蔭で極めて豊かな色彩を持つことが出来た。ギリシャ神話に登場する物語ひとつひとつが立派なエンターテインメントとして成立している。古代ギリシャ人は神々の姿の中に人間の本性を描き、イスラエルの民は神の中に絶対的存在を描いたのではないかと私は考えている。

近親相姦と親子の葛藤

さて先の Letter では神話の中にみる兄弟喧嘩について述べたのであるが、ギリシャ神話には兄弟喧嘩として特に取り上げたいような物語はないように思う。勿論、数多い物語を丹念に読み込めば探せないことはないと思うが私は寡聞にして知らない。しかし近親相姦と親子喧嘩（葛藤）の話はたくさん出てくる。

そもそもオリンポスの神々が誕生する場面だけを考えてみてもそうである。まず大地の女神ガイアが自分の息子ウラノス（天空の神）と交わってレアとクロノスという姉弟を生み、この二人が結婚してゼウスやポセイドン（海を司る神）、ハデ

ス（冥界の王）、デメテル（豊穡の神）、ヘラ（ゼウスの妻となる結婚や愛を司る女神）達が生まれた。しかしこれら生れた子供達を父親のクロノスが全部飲み込んでしまっていたのを末子のゼウスが父クロノスと戦って救出したのがオリンポスの神々の誕生である。有名な話であり、ゴヤの名画「我が子を喰らうサトゥルヌス」も皆様一度は目にされたことと思う。

ギリシャ神話の中で最も有名な親子の葛藤の物語は、紀元前 430 年頃ソポクレスによってギリシャ悲劇を代表する作品として完成され、さらに 20 世紀になってフロイト（Sigmund Freud, 1856～1939）によってエディプス コンプレックスという学説として精神医学の世界で大きく取り上げられたオイディプス王の物語であろう。皆様よく御存知とは思いますが、改めてその粗筋を御紹介させていただきます。

テバイの王ライオスには妃イオカステとの間に一人の男子が誕生した。しかし「この子は成人したら父親を殺して王位を奪うだろう…」という神託が下り、ライオスは生れた子を野原に捨てるように家来に命じた。しかし、家来は幼子の命を奪うに忍びず、その子を羊飼いの男に預けてしまったのである。

オイディプスと名付けられたこの男の子はやがてテバイの隣国コリントスの王家に養子として迎えらる。ところが立派な青年に成長したオイディプスは、「お前は成人したら父を殺し、母と結婚するであろう…」という不吉な神託を受けてしまったのである。コリントス王夫妻を實の両親と信じ込んでいたオイディプスは大いに悩み、アポロンの神殿があるデルボイからコリントスへは戻らず、放浪の旅に出てしまった。

或る日オイディプスは旅の途中で出会った一人の老人と、「道を譲れ、譲らぬ」という些細なことから喧嘩となり、とうとうその老人を殺してしまう。この老人こそデルボイへ向かう旅の途中であったオイディプスの実の父親テバイのライオス王であった。

その頃、テバイの国では怪物スフィンクス（人間の乙女の顔と翼が生えたライオンの身体を持つ怪物。エジプトのピラミッドの前にそびえる巨大な像のお蔭でお馴染みである）が暴れて人々は大いに困惑していた。道行く人に謎かけ問答を仕掛

けては、答えられなかった人を次々と殺していたのである。

ライオス王との事件のあと、テバイに入国したオイディプスはスフィンクスとの謎かけ問答に挑戦し、見事に勝利してこれを退治してしまう。テバイ救国の英雄となったオイディプスは空位となっていたテバイの王位に就き、未亡人となっていた実の母イオカステと結婚することになってしまうのである。

イオカステとの間に 4 人の子供も誕生し、幸々な生涯を送るかと思われたオイディプスの人生はやがて暗転する。テバイに悪疫が流行し始め、疫病の解決策を知るためオイディプスは急ぎ義弟クレオンをアポロンの神殿へと走らせた。クレオンが持ち帰った神託は「テバイの国は汚れている。ライオス王殺しの真犯人を探し出し、事件の真相を暴き出して汚れを潔めよ…」というものであった。国の統治者として国家存亡の危機を乗り越えるため、オイディプスは自らが先頭に立って犯人探しに乗り出すのである。そして紆余曲折の後、事件の真相がすべて明らかとなった。絶望と罪の意識に打ちひしがれた妃のイオカステは自殺し、オイディプスは自ら両眼を刺して全盲の身となり放浪の旅へと出る。以上が物語の粗筋である。

エディプス コンプレックス

フロイトは、男の子は子供の頃母親と結婚したいという願望を持ち父親に敵対心を抱くが、父親によって罰せられるという不安も抱いている。このような葛藤は当然成長するにつれて解消されていくものではあるが、無意識にコンプレックスとして残り、成人した後もその後の行動にいろいろ影響を与えると主張したのである。普段はしっかりとした判断力と能力のある人が、目上の人との関係になると急に攻撃的になって、しなくても良いような反抗をして結局は左遷されたりする行動はこのエディプス コンプレックスによって説明がつくのだそうである。欧米のキリスト教国やイスラム教国に比較すると母権が強い現在の日本では、父と男の子ではなく、母と女の子の間でも同じような感情があるのではないかと私は考えているのであるが、紙面が尽きてしまったのでその詳細は次号で語らせていただきたい。

赤穂浪士の本当のねらい

元 医療法人 誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

1701 年江戸城内で、赤穂藩主浅野内匠頭が、吉良上野介に切りかかった。上野介は額に傷を負ったが、命に別状はなかった。浅野は取り押さえられた。その日は徳川五代将軍綱吉にとって、とくに大切な日であった。母に位を受けるために、勅使が来ることになっていたからである。そのめでたい日のみっともない内輪もめに、綱吉は激怒した。

内匠頭は即日切腹となり、赤穂藩はとりつぶしとなった。赤穂の藩士たちは、失職した訳である。浅野自身は暴力をふるったのだから、とがめられても仕方がない。しかし家来たちは、殿様の刃傷に全くかかわっていない。これは不当解雇である。そう言って、赤穂藩の再建をくりかえし要請した。しかし綱吉は、それを拒絶した。

赤穂の元藩士たちは、綱吉を深く恨むようになった。その恨みを晴らすには、どうしたらよいか。将軍へ抗議して、反省しなければ、殺してやりたいと考えた。ところが、浪人の彼らは、江戸城に入ることすら出来ない。内匠頭がいた時は、その供として入れたのである。将軍を殺すチャンスなど、ありえない。では、どうするか。綱吉が思い知らされるような、事件を起こすことである。それは、将軍のスケープゴートを殺すのが効果的である。

吉良上野介は、この事件ではむしろ被害者である。元赤穂藩士から見て、この人にとくに恨みはない。しかし、将軍綱吉のスケープゴートとして、最もふさわしい。1702 年、赤穂浪士 47 人は吉良邸に押し入り、上野介を殺害した。吉良には気の毒だが、これは綱吉へのみせしめであった。



「忠臣蔵」DVD

トイレの床から見えること

医療法人 CLS すがはら 菅原病院
専務理事 菅原 知之

皆さんには、何か続けていることはありますか？

朝の日課のトイレ掃除に玄関の拭き掃除、始めてから何年経ったでしょうか。あるとき、先輩から「1ヶ月トイレ掃除続けてみなよ。どうせできないだろうから、できたら焼き肉おごってあげるよ」と言われたのがきっかけでした。「どんな理由があっても、とにかく毎朝続けるように」ということでした。何となく面白半分で始めたことだったのですが、今では先輩が何を言いたかったのかが分かる気がします。

「続ける」ということは、簡単なようでとても難しいものです。誰でも一度は、「今日は体調が悪いなあ」とか「明日からがんばろう」と止めたことがあるのではないのでしょうか。それでもあきらめずとにかく続けていくと、そういった言い訳のような言葉はいつしか消え去って、習慣として身体が勝手に動いていくようになる経験もきっと皆さんお持ちでしょう。こうして毎日続けていると、トイレ掃除一つにしても、少しずつ色んなことに気づいたりするようになるものです。

毎朝掃除をしていて、膝をつけて床を磨いていると、いつもと全く違った景色が目に入ります。立ったところからだと汚れに気づくことは無くても、顔を近づけ「地上0メートル」から見れば「汚いなあ、ニオイもとれないなあ」「ここの備品は変えないと不快に思われるなあ」といった感じです。当たり前ですが、「誰かが掃除をしてくれていたんだなあ」等と改めて感じたりもします。又、普段は立ち止まって見ることなどない場所を、ゆっくりと見つめ直すことも出来ます。

組織の中においても、「続ける」「視点を変える」「立ち止まる」というのは非常に大事なことのだと感じます。当たり前ですが仕事を毎日きちんと続けることで、多くのことが見えてきて、効率性や品質を高めていくことができますし、視点を変えることでこれまで気づかなかったことが見えたりします。走っていると前ばかり見て足下を見ることはありませんが、立ち止まれば自分の足下を見ることができます。病院だけに限らず組織には多くの人が、とても忙しく働いていますが、当然ながら様々な考え、想いを持ちながらみんなが仕事をしています。そういう中でこそ、こういう当たり前のことを通して、周りへの深い理解や感謝を持ち続けたいと思います。

そういえば掃除を始めて何年も経過しているが、未だに先輩から焼き肉をおごってもらっていない。折角なので、これを肴に今度飲みにお誘いしてみようかと思っています。

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成 27 年 5 月福岡県私設病院協会の動き

◎監 査

日 時 5月12日（火）午後3時30分
場 所 協会事務室
内 容
1. 公益目的支出計画実施報告について

◎財務委員会

日 時 5月12日（火）午後3時30分
場 所 会議室
議 題
1. 協会財務のあり方について

◎理事会

日 時 5月12日（火）午後4時
場 所 会議室
議 題
1. 会長あいさつ
2. 協議事項
(1) 会員異動について
(2) 研修会について
(3) 公益目的支出計画実施報告について
(4) 第2回定時総会&懇親会について
(5) 福岡県病院協会と福岡県私設病院協会との「懇談会」について
(6) その他
3. 報告事項
平成27年度福私病ニュースの表題について
→「地域の医療と介護を支える民間病院」
4. 協会及び関係団体事業報告
(1) 私設病院協会4月の動き
(2) 看護学校
(3) 医療関連協業組合
(4) 厚生年金基金
(5) 全日病本部
(6) その他

◎事務長会運営委員会

日 時 5月21日（木）午後3時
場 所 会議室

議 題

1. 協議事項
 - (1) 介護報酬改定への対応について
 - (2) 情報交換について
 - (3) 研修会の企画運営について
 - (4) その他
2. 報告事項
 - (1) 研修会について
 - (2) 私設病院協会3～4月の動き
 - (3) その他

◎第2回定時総会

日 時 5月22日（金）午後3時45分
場 所 ホテルオークラ福岡
3階〈オークルーム〉

議 事

- 第1号議案 平成26年度事業報告
第2号議案 平成26年度計算書類承認の件
第3号議案 平成26年度公益目的支出計画実施報告
第4号議案 平成27年度事業計画報告
第5号議案 平成27年度予算報告

懇 親 会 午後6時〈オークルーム〉

◎講演会

日 時 平成27年5月22日（金）
午後4時30分
場 所 ホテルオークラ福岡
3階〈メイフェア〉
演 題 「中央情勢報告」
・地域医療構想策定について
・医療事故調査報告制度について
・マイナンバー制度について
講 師 全日本病院協会副会長
(医) 寿康会病院
理事長 猪口 雄二 氏
参加状況 41病院 74名

『変わるもの、 変わらないもの』

医療法人 互舎会
宮松病院
事務長

井上 賢二

平成 25 年 12 月、前身である福岡共立病院からその事業を承継し、新たな医療法人のもと、その地にちなんで、「宮松病院」として出発してから 1 年と半年が経過しました。旧病院時代に事務長という大任を拝し、今年 6 月でちょうど 5 年になります。今日までの歩みを振り返るとき、さまざまな人との出会いと別れがあり、その厚みの分だけ思い出があり、病院という職場の内外で、たくさんの方々を支えられて今日があることを思うと感慨深い面持ちになります。

弊院は福岡市東区の西側に位置し、博多区と粕屋郡に隣接した場所にあります。博多駅や福岡空港からさほど遠くもなく（真上を通る飛行機の音に悩まされますが）、JR 箱崎駅から歩いて 10 分ほどにあり、近くには宮崎宮があります。

5 階建ての屋上から見える風景は、特に千早方面にかけてのめざましい発展ぶりを望むことができます。その遠方にそびえる立花山はかつて中世の山城があった史跡として有名です。

この立花山城。この城の城督としてのちに天下人秀吉をして「鎮西一の勇将」といわしめた立花宗茂（統虎）ゆかりの地です。宗茂はこの地で、戦国末期に島津勢数万の大軍を実父・高橋紹運（筑前・岩屋城主）と共に守り切ったことでも知られています。実父・紹運は岩屋城に籠り、わずか 700 余名の城兵と共に粘り強く敵軍の猛攻に耐えましたが、最後は城と共に討死します。その後押し寄せた島津軍に対し、立花山城に籠る宗茂軍は秀吉の援軍の来着まで実父に負けない戦いを続けついに敵勢を退けました。

それから宗茂は筑後・柳川城主となり数々の功績をあげますが、秀吉死去後、その忠義心から、関ヶ原の戦いにおいて西軍に属していたため立花家は改易となり、宗茂は浪人同様の生活となります。宗茂をよく知る同僚の武将らはその器量を惜しみ家臣として迎えようとしますが、宗茂はすべて謝絶しました。その後、長く不遇の日々を過ごすこととなりますが、彼の功績と人柄と長い蟄居生活の甲斐もあって、ついに陸奥・棚倉藩主として大名に復帰し、さらには旧領の柳川に藩主として返り咲きました。関ヶ原の戦いで、西軍についた武将のうち、旧領に復帰した武将は宗茂以外にはいません。

歴史に名を刻んだ人々の生きざまは、今を生きる私たち（少なくとも私は）に多くの勇気と希望を与えてくれます。先人の足跡が残る史跡やその伝記にふれるとき、自分自身が抱える悩みの小ささを感じると同時に、昔の人たちも似たようなことで悩んでいたのか、とどこか救われる思いがします。

病院という職場のステージが移り変わるその時に関わることができたことは、私自身の人生に多くのものを与えてくれましたが、職場や環境が変わっていても、自分自身がどうあるべきなのか、ということがとても大切ではないかと思いました。

宗茂の生き方のようなまねができる自信は全くありませんが、どんな状況にあっても、たとえ不遇な時代にあっても、自分自身を見失わない生き方を大切にしていけることでいつか道が開けていくことを遠くにたたずむ立花山が教えてくれているような気がします。

新たな船出から 1 年半。この間に、関係する医療機関、施設、行政の方々から多くのご支援をいただきました。この誌上をお借りしまして、心より御礼申し上げます。そしてそのご恩に報いるためにも、弊院の掲げる「患者第一」の医療を広く地域に提供していくことで、これまで以上に必要とされる医療機関となれるよう頑張ってまいります。

理事会

◎第23回 理事会 報告書

日 時 平成27年5月26日（火）16：00～
場 所 福岡県医師会館 6階 研修室3
福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号

出席者（敬称略）

会 長 石橋

副会長 田村、竹中

理 事 上野専務理事、飯田、一宮、江頭、
岡留、大塚、小野、小柳、島、津留、
寺坂、中山、吉村

監 事 田中、福重、八木

議 長 岡嶋

顧 問 今泉、草場

I 行政等からの通知文書の伝達 該当なし

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催予定】

ア 第142回看護研修会（寺坂担当理事）

日 時 平成27年6月10日（水）9：50～

場 所 九州大学医学部百年講堂
「大ホール」

テーマ 「人間関係・コミュニケーション・
コーチング」

講演「医療現場における人を活かして
伸ばすコミュニケーション」
～人を大きく変化させるパラダ
イムシフト・コーチング～

講師 岸事務所 代表 岸 英光 氏
（エグゼクティブコーチ）

III 法人事務等関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研究会関係

【開催結果】

ア 第2回 ほすびたる編集委員会

（岡嶋編集委員長）

日 時 平成27年5月26日（火）15：30～

場 所 福岡県医師会館 6階 研修室3

協議事項

① 6月号の現況について

② 7月号、8月号の編集計画

③ その他

(2) 「第22回理事会」の議事録について

（上野専務理事）

(3) 退会届について（上野専務理事）

・ 船小屋病院（みやま市）

三根 浩一郎 理事長

特に意見もなく理事会は了解された。

(4) 第25回日本臨床工学会後援名義使用申請
について（上野専務理事）

・ H27.5.23（土）、24日（日）「福岡サ
ンパレス&ホール」で開催済み

・ 五役会で後援名義使用を了解のう
え、承諾書を送付したことを事後報
告された。

(5) 私設病院協会との懇談会について

（上野専務理事）

・ H27.5.12（火）19:00～ホテル日航福岡
にて開催

・ 専務理事からは、津留私病協専務理事
が「地域医療」に関連して、上野専務
理事が「診療関連死」に関連して講話
があり、「地域医療構想策定」に関し両
団体が連携協力していくことが報告さ
れた。具体的には、五役会の開催に合
わせて合同会議（当協会は専門委員会
を主体に、第1回は6月9日18:00から
福岡県医師会館にて開催予定）を開催
することが報告され、理事会の承認を
求められた。

また、津留理事からの懇談会報告と
ともに、竹中副会長から補足説明があ
り、寺坂理事、岡留理事からも意見が
述べられた。

・ 以上の報告及び今後の進め方について、
理事会は承認された。

2 協議事項

(1) 第3回定時会員総会の議案について

(上野専務理事)

第1号議案 平成26年度事業報告について

第2号議案 平成26年度収支決算について

- ・5/19(火) 監事3名及び平財務理事が出席され、会計監査が実施されたことの報告とともに、田中監事からは、会計処理が適正に行われている旨の会計監査報告があった。

第3号議案 会費等に関する定款施行規則の一部改正について

- ・公益目的事業の「収支相償」に関して、会費を各会計に柔軟に振り分けるために追加規定するもの。
- ・各議案ともに特に意見等はなく、6月16日開催予定の「第3回定時会員総会」に提案することが承認された。

(2) 第9回県民公開医療シンポジウムについて

(小野運営委員長)

- ・当日配付された資料(開催案内チラシ等)に基づき、チラシ等の印刷枚数及び配付先などについて説明、提案されたところ、承認された。また、プログラム広告掲載について、未申込み病院の協力を要請された。

(3) 病院協会ホームページの活用法について

(上野専務理事)

- ・ホームページの活用法等について要望・意見は特になく、資料の「ホームページ画面イメージ」を基本に、詳細については五役会で詰めていくことが承認された。

(4) 医療事故調査制度への対応について

(上野専務理事)

- ・前回の理事会から引き続いての協議であり、竹中副会長からの補足説明の後、寺坂理事や岡留理事を交えて、「支援団体」やその登録に関して活発な意見交換が行われた。

- ・五役会での検討を踏まえ、今後とも継続して協議していくこととされた。

3 その他【開催予定】(上野専務理事)

(1) 平成27年6月

ア ほすびたる編集委員会・理事会・定時会員総会

日時 平成27年6月16日(火)

- ① 16:45 ~ ほすびたる編集委員会
- ② 17:00 ~ 理事会
- ③ 18:00 ~ 定時会員総会(H26年度事業報告・決算の承認)

場所 福岡県医師会館 6階 研修室3

(2) 平成27年7月

ア ほすびたる編集委員会・理事会

日時 平成27年7月28日(火)

- ① 15:45 ~ ほすびたる編集委員会
- ② 16:00 ~ 理事会

場所 九州大学医学部百年講堂 中ホール3

(3) 平成27年8月

ア ほすびたる編集委員会・九州大学伊都キャンパス視察・役員納涼会

日時 平成27年8月18日(火)

※ 各行事の時間等については未定。

4 最近の医療情勢について

- ・今泉顧問から、資料「病院長・幹部職員セミナー開催のご案内」の配付と説明があり、各病院からのセミナーへの参加を要請された。

※ 日本病院会主催で、平成27年8月6日及び7日、イイノホール(東京都千代田区)にて開催予定。

- ・専務理事から、今年度の重要課題である「専門医研修制度」についての問題提起があり、各病院長としての意見を求められたところ、問題点等について飯田理事、田村副会長、石橋会長、及び島理事から意見が述べられた。

病院長・幹部職員セミナー 開催のご案内

～ 変革期を迎える病院医療 ～

日本病院会では学術活動の一環として、日本病院学会、日本診療情報管理学会学術大会を運営し、関連学会である日本人間ドック学会学術大会にも関与しております。昨年からはこの病院長・幹部職員セミナーを学会と同等の扱いで運営することといたしました。それは、医療を取巻く環境は厳しさを増している中で、提供する医療の質、医療従事者の確保、診療報酬の問題等、タイムリーな話題について、現場の経営トップの皆様方に見識を広め判断力を養っていただき、日常の病院運営に役立てていただくのが大変重要と考えているからです。
多くの皆様の参加をお待ちしております。



日本病院会会長
荒井 常雄

開催概要

日 時 平成27年8月6日(木) 9:55～17:10 (情報交換会: 17:30～)
平成27年8月7日(金) 9:00～12:55

主 催 一般社団法人 日本病院会

後 援 公益社団法人 日本看護協会

会 場 イイノホール 東京都千代田区内幸町2-1-1 TEL: 03-3506-3251

定 員 450名(先着順)

参加費 会員施設 25,000円(税込) ※日本看護協会 会員を含む

非会員施設 30,000円(税込)

情報交換会 5,000円(税込) ※各講師も参加します。事前申込が必要です

締切日 平成27年7月14日(火) (定員になり次第申込受付終了)

※参加費には資料代が含まれます。

※日本病院会会員については <http://www.hospital.or.jp/member.html> でご確認いただけます。

プログラム

平成27年8月6日(木)

9:00- 9:55		セミナー資料配付 (会場前受付にて)	
9:55-10:00		担当副会長あいさつ 会長あいさつ	今泉 暢登志 堺 常雄
10:00-10:50	講演	Quality Indicator (QI) を用いた医療の質管理	講師：福井 次矢
10:50-11:00		休憩	
11:00-11:50	講演	臨床研究に関する新しい倫理指針への対応 ～ 病院管理者の責務等について ～	講師：楠岡 英雄
11:50-13:00		休憩	
13:00-13:50	講演	共同購入を考える ～ その意義、事例、課題 ～	講師：神野 正博 後藤 俊男
13:50-14:00		休憩	
14:00-14:50	講演	トラブル発生! そのときどうする ～ 院内暴力、異常クレーム、認知症患者の運転免許などへの対応 ～	講師：唐澤 秀治
14:50-15:10		休憩	
15:10-16:10	講演	JNP の養成と実践配置、その将来 ～ 診療看護師 (JNP …Japanese Nurse Practitioner) ～	講師：松本 純夫 菊野 隆明 松村 美絵
16:10-16:20		休憩	
16:20-17:10	講演	現場実践に活かす「臨床倫理」の取り組み方 ～ 病院機能評価において求められる水準に則して ～	講師：板井 孝壹郎
17:30-19:30		情報交換会 (各講師も出席します)	

平成27年8月7日(金)

8:30- 9:00		受付	
9:00- 9:50	講演	病院経営 ～ 発想の原点 ～	講師：近森 正幸
9:50-10:00		休憩	
10:00-10:50	講演	これからの医療提供体制における看護の役割と拡大 ～ 特定研修制度の戦略的活用に向けて ～	講師：坂本 すが
10:50-11:00		休憩	
11:00-11:50	講演	自然災害時の病院の対応・対策 ～ 東日本大震災を経験して ～	講師：金 愛子
11:50-12:00		休憩	
12:00-12:50	講演	平成 28 年度診療報酬改定と差し迫った医療提供体制の変革	講師：万代 恭嗣
-12:55		閉会あいさつ	今泉 暢登志

《 注意事項 》

※カリキュラム、講師等は変更になることがありますので予め承知をお願いします。

お申込み方法



インターネット

① インターネットでのお申込み【推奨】

日本病院会ホームページ (<http://www.hospital.or.jp/>) の「講習会・セミナー」の「病院長・幹部職員セミナー」申込ページからお申込みください。



FAX

② FAXでのお申込み (申込用紙がない場合はホームページからもダウンロードできます)

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAX(03-5812-6442) まで送信してください。

①②ともに、指定口座に**参加費をお振込みいただくことで申込が完了**します。
資料は当日、会場前受付でお渡しいたします。

【注意事項】

- ※折り返し「確認書・参加費お振込のご案内」をお送りしますので、ご参照のうえご送金願います。
- ※事務局で入金を確認したのち、参加証(ハガキ)をお送りします。
- ※領収書の発行はいたしません。
- ※セミナー及び情報交換会の参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。
- ※お振込後のキャンセルは資料の発送をもってかえさせていただきます。
- ※昼食および宿泊は各自ご用意、ご手配願います。

会場アクセス



イイノホール

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1

◎ 東京メトロ：

- 日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」C3 出口 徒歩 1 分
- 丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2 出口 徒歩 5 分
- 銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口 徒歩 3 分
- 有楽町線「桜田門駅」5 番出口 徒歩 10 分

◎ 都営地下鉄：

- 三田線「内幸町」駅 A7 出口 徒歩 3 分
- 浅草線「新橋駅」徒歩 10 分

◎ JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線：

- 「新橋駅」徒歩 10 分

◎ ゆりかもめ「新橋駅」徒歩 10 分



お問合せ・事務局案内

お問合せ先

一般社団法人 日本病院会 「病院長・幹部職員セミナー」事務局

E-mail: is2015@hospital.or.jp

TEL: 03-3831-5420 (ダイヤルイン) ※10:00~18:00 (土・日・祝日を除く)

「ほすびたる」6月号をお届けします。

今月号も、皆様より素晴らしい原稿をたくさんお寄せいただき、充実した内容となりました。

編集委員一同、心より御礼を申し上げます。

「声」の欄では、当協会参与で西日本新聞報道センターの田川氏が、「福岡官兵衛塾」に集う事務職員の方々が病院経営に対する造詣を深めていく試みに魅了されたこと、その結果、組織の垣根を越えた連携が築かれていくことへの期待を述べておられます。田川氏には昨年12月に開催されました参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会の席上で、「ほすびたる」に対する過分なお褒めの言葉をいただきました。ここにあらためて御礼を申し上げます。

「趣味」の欄では、この官兵衛塾の塾長である杉岡記念病院医療連携室室長の大谷氏から、異業種、様々な年齢層で構成される「起ての会」について、その楽しい飲みニュケーションの模様を語っていただきました。この会にはひとつの掟があり、それは会員が「自慢話」をすることだそうです。“掟”とあれば、なんの遠慮もなく自慢話ができることでしょう。ストレス解消にはもってこいのような気がします。元氣あふれるお二人のお話は、梅雨の時期のうっとうしい気分を吹き飛ばしてくれました。

「新人」では、新しく病院長に就任されまし

た富永先生、菅原先生に抱負を語っていただきました。お二人のますますのご活躍をお祈りいたします。

「病院管理」では上野先生に、いよいよ始まる医療事故調査制度について筆をふるってもらいました。今や、先生のライフワークとなった医療事故への対応について、熱い思いが語られています。エボラに負けず、頑張っていたきたいと思います。

「看護」では音成看護部長（小倉医療センター）、大塚副看護部長（久留米大学医療センター）、渡邊副看護部長（福岡通信病院）の三名の方々が、それぞれの施設での現状や取り組み、現場の声などを具体的に判りやすく語って下さいました。

「Letter」（朔先生）、「Essay」（安田先生、菅原先生）もいつものように大変魅力的な内容でした。「福精協の広場」を担当いただきました井上氏にも感謝申し上げます。

「ほすびたる」にも会員の「自慢話のコーナー」を設けてみると面白いかもしれませんね。まずは編集委員会のメンバーから始めますか？

“掟”の不要な面々ですが……。

（岡嶋泰一郎 記）

ほすびたる

第 689 号

平成 27 年 6 月 20 日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail: fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

編集 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1
麻生ハウス 3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail: mail@azusashoin.com

編集主幹…石橋 達朗

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…竹中 賢治

編集委員…上野 道雄・安藤 文英

平 祐二・津田 泰夫

草場 公宏・塚崎 恵子

社労士ネット+（県内 20 名の社労士が参画）等と共に本年施行のストレスチェックを支援する

ベネフィット・パートナーズ

代表：特定社会保険労務士 奥 省三

本部：〒815-0072 福岡市南区多賀 1-17-30-406 TEL (092)541-8710 FAX (092)541-8725
e-mail : oku023@nifty.com 携帯：090-2857-4081

- ◎ 福岡県内、九州、山口の病院、介護、薬局、一般企業様に各種ベネフィットを！
- ◎ セミナー・講習会の開催 & 社労士ネット+ の業務サポート
- ◎ （株）オールニュートラルと選択制 401k 等企業福利制度の見直し・整備
- ◎ PanaHome ケアリンクシステム（ケア付高齢者住宅一括借上げシステム）提携事業
- ◎ 教育訓練、能力開発支援、福利厚生トータル支援、給与計算その他幅広いサポート

.....
本年 12 月 1 日よりストレスチェック制度施行！（従業員 50 名事業所年 1 回以上実施が義務化）
当社は適切な支援体制に基づき事業所さまのスムーズな実施をサポート致します！
.....

関連法人・団体等と密に提携 より広く！ より深く！ 支援致します。

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| ■ 病院・薬局・介護事業所を幅広く支援する | 特定社労士 奥 ^{プラス} 経営労務事務所 |
| ■ 社労士を中心とした専門家の任意団体 | 社労士ネット+ |
| ■ 選択制 401k、長期障害補償制度など | （株）オールニュートラル |
| ■ 介護事業及びその労務管理支援 | パナホーム不動産株式会社ほか |

第143回看護研修会のご案内

テ ー マ 「PNS（パートナーシップ・ナーシングシステム）パートⅣ」

開 催 日 平成27年8月7日（金）9：20～15：00

場 所 九州大学医学部百年講堂 1F「大ホール」
福岡市東区馬出 3 丁目 1 - 1

参 加 料 会 員 病 院 1人につき 3,500円
会 員 外 病 院 1人につき 5,000円

I 基調講演

「新看護方式 PNS の導入と定着に至るまで」

産業医科大学若松病院 看護副部長 安東 睦子

II シンポジウム「PNS（パートナーシップ・ナーシングシステム）実践報告」

「PNS 導入におけるリーダーへの動機づけと価値観形成の仕組みづくりの経過報告」

福岡大学筑紫病院 副看護部長 福本 洋美

福岡大学筑紫病院 看護師長（集中ケアセンター） 久保 伸子

「デイパートナーからはじめる PNS への取り組み」

公立八女総合病院 PNS プロジェクトリーダー 佐伯 佐知子

*お問合せは福岡県病院協会事務局（電話 092-436-2312）までお願いいたします。